

週刊 新社会

発行所：新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神保町2-10 三辰工業ビル3F
TEL 03(6380)9960 FAX 03(6380)9963
振替 00140-0-149727 1ヶ月700円 郵送料 1ヶ月168円

新社会千葉

2026年4月 282号

発行：新社会党千葉県本部
千葉市中央区新田町7-5 石出ビル3F
TEL:043-244-6865 FAX:043-244-6864
E-mail:sinsya@lily.ocn.ne.jp
HP URL:http://shinsya-chiba.sub.jp/

松戸市庁舎建て替え方針決まる
移転→白紙撤回→現地で



松戸市役所 左が本館、右が新館

市庁舎建て替えは「現地か移転か」をめぐって検討してきた松戸市は、3月11日の議会特別委員会で「建て替えは現地とする」方針を市長自ら説明した。正式決定は6月議会までに基本計画策定予算案の承認を待つことになるが、現地建て替えを求めてきた市民の間に安堵感が広がった。

市庁舎建て替えは老朽化、分散化、狭あい化、耐震性不足、防災対策などの観点から喫緊の課題となっていた。阪神・淡路大震災を機に耐震補強が始まり、建て替えは前市長の下で一括移転から段階的移転へ、市民の声を無視し移転ありきで進められてきた（本紙24年5月号既報）。

市庁舎建て替えは老朽化、分散化、狭あい化、耐震性不足、防災対策などの観点から喫緊の課題となっていた。阪神・淡路大震災を機に耐震補強が始まり、建て替えは前市長の下で一括移転から段階的移転へ、市民の声を無視し移転ありきで進められてきた（本紙24年5月号既報）。

8億円安上がり、事業期間も現地の方が1年半短期で完了すると判明した。そこで市は比較検討項目を事業費と事業期間を軸に利便性、防災対策、まちづくりに関する14項目に再整理。第2回聞き取り調査で市民の多くが事業費と利便性を重視、PTの評価も現地優位に傾いた。これを受けて市は、事業費と事業期間、利便性を最優先すべきとし、現地建て替え方針を決定した。

市庁舎の賃貸契約は済み、後戻りはできない。だが一件落着ではない。移転候補地の新拠点ゾーンは公園と緑、文化・学園地区。その整備（開発）計画が見直し含みで生きているからだ。

市長交代で白紙撤回
この動きに待ったをかけたのが昨年6月の市長交代だ。松戸隆政市長は公約通り従前

市民対象の聞き取り調査が昨年11月と今年2月の2回、本庁と各支所、オンラインで実施、有識者4名からなるプロジェクトチーム（PT）の懇談会もその都度2回開催された。また、事業費と事業期間の比較検討は業者に委託。その結果、事業費は現地の方が54・

市庁舎の現地建て替えを訴える市民ネットはこの間、地域署名とポスティング、駅頭や市役所前での宣伝、市内13カ所の独自学習会、

【松戸発】
「市民の理解を重視する市長の姿勢」が決定打となった。

事業費も期間も現地

今後の開発計画に注視

オマーンで行われていた、アメリカとイランの核交渉の最中の2月28日、アメリカとイランスラエルによるイラン攻撃が行われた。これによってイランの最高指導者ハメネイ氏らが殺害され、南部の小学校も攻撃され女子生徒100人以上が殺された。アメリカとイスラエルは、イラン政権の

転覆を目的としているが明確な国連憲章違反だ。
3月25日、アメリカ

攻撃したと発表した。トランプ大統領は、グリーンランドの領有を主張したり、「次の

では、戦争賛成が35%、反対が61%で、全米各地で大きな抗議デモが起きています。

くらはなければならない。一方、高市首相は、このような悪逆非道な振る舞いに対して、諫

をもたせざるのドナルドだけだと煽じた。国会では国際法上の正当性について明確な答弁を避け、アメリカの肩を持った。

3月25日夜、強い雨のなか、国会正門前で2万4千人が抗議の声をあげた。30%の政党支持率で独裁する高市政権は早急に倒さなければならぬ。

戦争やめろ 暴君を倒せ

訂正
本紙前号「展望」冒頭部分「皇位ハ・宗ノ」は「皇位ハ・祖宗ノ」の誤植でした。訂正してお詫びします。

千葉県憲法集会
5月9日(土) 13:00
千葉市文化センター5F
講演：前川喜平さん
資料代：500円

「春闘」の熱気が懐かしい。今は政労使会談と生産性向上のお題目が目立つ。この「パイ論」は読者は先刻御承知だろう▼かつての総評労働運動は「賃金は労働力の再生産費である」と繰り返して教え、

「春闘」の熱気が懐かしい。今は政労使会談と生産性向上のお題目が目立つ。この「パイ論」は読者は先刻御承知だろう▼かつての総評労働運動は「賃金は労働力の再生産費である」と繰り返して教え、国労等は「反マル生」闘争を展開した。組織破壊攻撃があまりにも酷かったことから、国鉄総裁が国会で陳謝したが、生産性向上運動それ自体は放棄しなかった。賃金思想が労資関係を決すると知っていたのだ▼「賃金論」なき労資協調の連合労働運動は、資本金十億円以上の大企業に五百八十一兆円もの莫大な内部留保をもたらし、労働分配率は三七・五%と、2000年以降最低である。そして純金融資産一億円以上の富裕層と五億円以上の超富裕層は2013年以降増加し続けている▼「問題は保守対リベラルの左右の分断ではなく、富裕層による政治支配の分断であり、真の闘いは上対下である」(米民主党・ジェームス・タラリコ氏)



物価高で悲鳴 その2

総選挙前は、各政党はこぞって、「物価高対策」を公約に掲げていたが、国民に対するその約束は一体どこへいったのか。
物価高は収まるどころか、庶民の苦しみなどはどこ吹く風と、公共料金までが値上げ狂騒に踏み込んだ。



4月から電気・ガス料金の補助金終了で値上がりするのは確実だ。また、中東情勢による原油価格の上昇でさらに値上げは必至とみられている。
水道料金は、全国的にも老朽化した施設の更新を理由に値上げの傾向にある。千葉市では今月から下水道料金を平均13・6%値上げする。
JR東日本は、3月14日から平均7・1%の運賃値上げを実施している。
アメリカとイスラエルによるイラン攻撃によって、ホルムズ海峡が封鎖され、オイルタンカーが通過できなく

千葉県共闘会議 (坂本雄一郎議長) は3月6日、千葉市内において「2026春闘勝利!千葉県総決起集会」を開催した。
「すべて働く人の生活の底上げ・底支え・格差是正について」をテーマに全国一般東京東部労組須田光照書記長が講演

今こそ大幅賃上げ

闘争報告では、JAL不当解雇を闘う鈴木圭子さん(JH U労組)が「都労委から不当労働行為と命じられた日本航空の体質の悪さ、都労委命令に未だに従わないことに怒りを覚える。広く世間に知らせたい」と報告した。来賓として社民党、

なり、これによって原油価格が急上昇している。原油価格の上昇は、ガソリンや灯油、電気、ガスなどのエネルギーの高騰をまねく。そして物流や農業、プラスチック製造などの基幹部分の経費が上がる。その結果あらゆる日用品や食料品の価格上昇へとつながる。

庶民の声を聞け

「スーパーに行っても、何でも高く買えない。果物や菓子類は見るだけ」「医療費が高くて、生活費に支障がでる」「子どもの教育費も結構かかる。食費を削ってしのいでいる」「政府の物価高対

四季へのいざない 大利根の風にうかるる奴風 水明

風は正月の遊びであり、「初風」や「飾り風」は新年の季語とされている。が、単に「風」と言えば春の季語。傍題としては、「いかのぼり」「はた」「絵風」など二十種類ほどあり、掲句の「奴風」もそのうちのひとつである。また呼び名も地方によってさまさま。長崎では「ハタ」、新潟の三条では「イカ」と呼んでいる。風合戦や出世風などを五月、六月ころに行事として行う地方もある。

STOP 水道民営化

全国的に、水道事業を民営化しようという動きがある。政府は、水道事業の官民連携(ウオーターPPP)の導入を図らなければ、「下水道汚水管改修に対する国費支援を

打ち切る」と脅すようになり、民営化を進めようとしている。民営化すると、法人税、役員報酬や株主配当などが収益から支払われる。財政状況を監視すること

1980年代から世界中で民営化が進められたが、料金値上げ、水質悪化、水資源の独占などに繋がっており、今ではヨーロッパを中心に「再公営化」が進んでいる。水は命の源だ、公共性の高い上下水道を民間企業の利益に供与してはならない。



コーヒータイム

私も連れ合いも80歳を超えてめっきり出不精になったが、2月の穏やかな日を選んで亥鼻山の千葉城に出かけた。千葉城は郷土博物館になっていて、最近リニューアルされたというのを聞いていた。エレベーターで5階の天守に上がり順次階を下りると時代別に展示されていて、全国でも有数の貝塚を誇る千葉県だけに展示物も充実している。天守の外に出ると廻り廊下になっていて、東西南北に見晴らしが良い。上総の大地が隅々まで見渡せる。県庁の高層ビルがすぐ目の前にそびえている。

展望レストランで優雅に食事?



ユニオン市原という組合に相談に来た人が「館山の看護学校の不当な扱いに我慢ならぬ」ということで千葉地裁に提訴した。その公判の傍聴に参加した際に仲間と何度か県庁の食堂でランチを食べたのだ。連れ合いは「私も食べてみたい」という事になってしまった。そんなわけで県庁の20階へ。スカイレストラン黎明には数種類の定食とカレールイスなどがあり、別料金だがドリンクバーや野菜バーもある。悔しいのでこの際一番高いやつを注文することに880円のビーフカツ定食にした。ラーメンが1000円を超えるようになってきた。たゞ時世の値段はあがりかたい。量も結構あってそれなりに美味しい。しかし高級レストランで一食数万円もする食事をして楽しむ人もいる格差社会の世の中、県庁のレストランで満足している自分が何とも情けない。

【稲毛のGさん】